

心と心、笑顔のリレー



2026年 9月発行 VOL.59



社会福祉法人 済生会支部
富山県済生会

富山県済生会富山病院

〒931-8533 富山市楠木33番地1
TEL 076(437)1111 FAX 076(437)1122
医療福祉支援センター
TEL 076(437)1101 FAX 076(437)1131

<http://www.saiseikai-toyama.jp/>



循環器内科

済生会富山病院 循環器内科では、心臓や血管の病気に関する総合的な診療を行っています。

心臓の病気には、心筋梗塞や狭心症などの「虚血性心疾患」、心筋の機能が低下する「心筋症」、弁の動きに異常が生じる「弁膜症」、動悸やめまいを引き起こす「不整脈」などがあります。また、血管の病気には、足の動脈が細くなったり詰まったりする「閉塞性動脈硬化症」や、足の静脈が膨らんでこぶのようになる「下肢静脈瘤」などがあります。

当科では、これらの疾患に対して高性能な機器を用いた精密な診断を行い、お薬による治療や「カテーテル」と呼ばれる細い管を使った身体への負担が少ない治療を行っています。さらに、心臓リハビリテーションによる運動療法や、定期的な「心臓病教室」の開催を通じ、病気の解説や日常生活での注意点などの情報発信にも力を入れています。



(左から) 辻研修医・能登部長・野々村主任部長・亀山院長・茶谷部長・大原部長



庵部長

■ 急性心筋梗塞の治療

急性心筋梗塞は、心臓の動脈(冠動脈)が急に詰まることで心筋が壊死し、激しい胸の痛みを引き起こす病気です。放置すると命に関わる非常に危険な病気ですが、迅速なカテーテル治療により死亡率を大幅に下げることができます。来院後すぐに治療を行うことで、詰まった血管を風船で膨らませ、ステント(金属の網状の筒)を留置して血流を再開させます。当院では一刻も早い治療開始を目指し、**来院から1時間以内に治療を開始できる受入体制**を整えています。

■ 狭心症の治療

動脈硬化により冠動脈が細くなり、体を動かした際に胸の苦しさを感じる病気です。通常はカテーテルを用いて風船やステントで血管を広げる治療を行いますが、動脈硬化が進んで血管が非常に硬くなっている場合もあります。当科では2021年より「ロータブレーター」と呼ばれる超小型ドリルを導入しており、これまで治療が難しかった硬い血管も安全に広げることが可能になりました。

■ 不整脈の治療

2022年7月より、心房細動に対するカテーテル治療(心房細動アブレーション)を開始いたしました。動悸や息切れにお悩みの方もカテーテル治療で症状の改善が期待できます。また、2024年5月からは足の付け根から心臓内に直接配置する「超小型カプセル型ペースメーカー(リードレスペースメーカー)」の植え込み治療も開始し、より低侵襲な治療を提供しています。



■ 弁膜症・高度カテーテル治療

(富山大学附属病院との連携)

当科では、富山大学附属病院と密接に連携し、身体への負担が少ない最新の高度カテーテル治療にも力を入れています。

● TAVI(経カテーテル大動脈弁留置術)

開胸せずにカテーテルで人工弁を留置する、高齢の弁膜症患者さんにも優しい治療法です。

● マイトラルクリップ(経カテーテル僧帽弁修復術)

僧帽弁閉鎖不全症に対し、クリップで弁の逆流を抑える治療です。

● 左心耳閉鎖術

心房細動に伴う脳梗塞のリスクを低減させるため、血栓ができやすい部位をカテーテルで閉鎖する治療法です。

患者さんの状態に合わせて大学病院へスムーズにご紹介・連携し、最適な治療をご提案いたします。

■ 閉塞性動脈硬化症の治療

足の動脈が細くなったり詰まったりすると、歩行時に足の痛みやしびれが生じます。足の血管に対してもカテーテルを用い、風船やステントで血流を再開させる治療を行っています。血流が改善することで、歩行時の痛みが大幅に和らぎます。

■ 下肢静脈瘤の治療

足の静脈が浮き出たり重だるさを感じたりする下肢静脈瘤に対しても、身体への負担が少ないカテーテル治療を行っています。

「胸が痛む」「歩くと足が痛む」「動悸や息切れがする」など、気になる症状やお困りのことがございましたら、どうぞお気軽に循環器内科へご相談ください。

文責／内科 主任部長 野々村 誠



院長

コラム

Vol.7

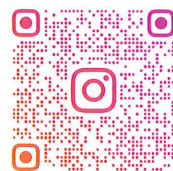
映画「開戦前夜」



院長 亀山 智樹

先の大戦の話題があふれる8月、猪瀬直樹氏のノンフィクション『昭和16年夏の敗戦』を原案とする「開戦前夜」を観てきた。真珠湾攻撃8カ月前の昭和16年4月、官僚・軍・民間から選ばれた若きエリートたちが、総理直轄の「総力戦研究所」に集められる。模擬内閣を結成し、日米開戦後の戦局を膨大なデータを分析し徹底的にシミュレーションする。導き出したのは、たとえ短期的な勝利を収めても、生産力、輸送力を含めた国の総力において、長期的な勝利は得られない、「日本必敗」という衝撃的な予測だった。しかし、時の首脳陣はこの科学的予測を採用せず、戦争に突入し、予想通りの敗戦を迎える。

われわれも短期的な利益に目を奪われてはなりません。現場の声を真摯に聴き、病院の実力に見合った長期的、客観的視野を持つことの重要性を、この映画は改めて教えてくれました。これからも持続可能な医療のあり方を模索しつづけます。



TOYAMA_INCHOU

Instagram
はじめました!



心臓リハビリテーションチームの紹介



当院心臓リハビリテーションチームは、医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・臨床検査技師・理学療法士など多職種で構成され、心臓リハビリテーション指導士や心不全療養指導士、慢性心不全認定看護師などの循環器系の専門資格を持つスタッフも多数在籍し、充実した診療を行っています。今年度からは全国33施設のひとつとして学会認定研修施設にも指定され、教育にも力を入れています。

発症直後の入院中のリハビリはもちろん、外来での運動療法も行っており、社会復帰までの切れ目のない支援を提供しています。昨年度は延べ約6300名の方に外来リハビリをご利用いただきました。また近年は高齢化に伴いフレイルが進行した患者さんも増加傾向にありますが、当チームでは一人ひとりの状態に応じた目標・負荷設定を行うとともに、機器を用いた筋力トレーニングも導入し、個別性の高いリハビリを実践しています。外来リハビリ患者さんの15%は、当院で外来リハビリを受けながら、診察や処方では地域の先生方から受けておられます。こうした形で病診連携にも積極的に取り組んでいます。今後とも心臓リハビリのご紹介やご相談など、お気軽にお声かけください。

文責／リハビリテーション科 係長 松下一紀



慢性心不全看護認定看護師の取組み

心不全は高齢化に伴い患者数が増え、再入院になることも多いため、心不全を予防し、悪くならないように早期から支援することが大切です。心不全は急性疾患でもあり慢性疾患でもあり、病状が揺れ動く中で、患者さんは症状への不安、治療の選択、生活の調整など、その時々で異なる課題を抱えます。また、心不全は良くなったり悪くなったりを繰り返しながら進む病気のため、「心不全の病みの軌跡」に寄り添いながら支援することが私の役割だと感じています。

令和8年の診療報酬改定では心不全再入院予防継続管理が新設されました。当院では令和6年に「循環器・心不全看護支援外来」を開設し、心不全を自分事として捉えにくいステージA・Bの時期から、再入院が多い脆弱期まで、心不全ステージに応じた療養支援を行っています。

循環器医師や心不全療養指導士、病棟・外来看護師、多職種と共に、患者さんの生活の実際を共有しながら支援しています。体重・症状のセルフモニタリング、服薬管理、食事・水分量、活動量の調整など、「その人に合った実践」を患者さんと一緒に考えることを重視し、疾患と共に生きるうえでの不安や困りごとに寄り添いながら、安心して生活を続けられるよう支援しています。

地域の皆さまと心不全の理解促進や支援方法の共有にも取り組んでいます。どうぞお気軽にご相談ください。

文責／慢性心不全看護認定看護師 相山 扶美



(左から) 瀬島主任看護師、相山副看護師長、古谷看護師

当院にご紹介いただく先生方へ……

医療福祉支援センターでは、ご紹介頂く患者さんの診察予約、検査予約を行っております。予約を行うことで、診療手続きが簡素化され、速やかな診察が可能となります。

診察予約の流れ

- 1 医療福祉支援センターへお電話ください。**
(直接、診察申込書をFAXしていただいても結構です。)
- 2 医療福祉支援センターで直接予約をお取りします。**
※医療福祉支援センターで判断ができない場合は担当医師に確認が必要なため、相談の上、予約させていただきます。
- 3 診察申込書をFAXください。**
確認、登録の上、予約票をFAXいたしますので、患者さんへお渡しください。

検査予約の流れ

- 1 医療福祉支援センターへお電話ください。**
- 2 医療福祉支援センターで直接予約をお取りします。**
- 3 診察申込書をFAXください。**
確認、登録の上、予約票をFAXいたしますので、患者さんへお渡しください。

検査予約時間	CT	10:00～11:30 (火・金以外)	月	14:00～15:00
		13:30～16:30 (月・水)	火	14:00～14:30
	RI	8:30～11:30 (月～金)	水	14:00～15:00
	MRI	9:30～16:00 (月・水)	木	14:00～14:30
			金	14:00～15:00

令和7年11月以降
CT・MRI予約枠
変更となりました。
電話(追加)予約時間は
8:30～18:00まで
延長しています。



富山県済生会富山病院 医療福祉支援センター

〒931-8533 富山市楠木33番地1 TEL 076-437-1101(直通) FAX 076-437-1131(直通)

ミッション(使命)

患者さん本位の心温まるすぐれた医療の提供

ビジョン(将来像)

- 地域住民の健康寿命の延伸
- 健康障害を抱える人々の生活の質の向上
- 働きがいのある職場環境の形成

バリュー(価値観)

- 生活困窮者支援の積極的推進、ソーシャルインクルージョン、誰一人取り残さず寄り添う心
- 地域住民、医療・看護・介護関係者に信頼され選ばれる、持続可能な病院
- 予防医学、救急・急性期医療、回復期リハビリテーション、慢性期医療、訪問看護、在宅医療支援、大規模災害時までカバーする切れ目のない医療体制の構築
- 働く職員の笑顔があふれる、働きやすい、働きがいのある病院

患者さんの権利と責務

私たちは、医療行為が患者さんと医療者との信頼関係の上に成り立つものであり、医療は患者さん中心であることを深く認識して、ここに「患者さんの権利と責務」を定めます

①患者さんの権利

- 個人としてその人格を尊重される権利
- 質の高い医療を公平に受ける権利
- 十分な情報を知り、説明を受ける権利
- 選択の自由と自己決定する権利
- プライバシーが守られる権利

②患者さんの責務

- 自身の情報を正しく提供する責務
- 診療行為に協力する責務
- 療養に専念する責務
- マナーや規則を守る責務
- 医療費を支払う責務